

第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
講師／佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部长 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長

第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師／久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー

第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師／篤沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師／清水 隆史さん フォトグラフィアーほか 常盤 昭二さん CMディレクター

第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師／虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーコルヴェーダ・健康セラピスト

第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOIGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師／竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】

第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師／本田 勇さん 信濃グランセローズ監督

第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師／萩原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト

第9回 トウガランの尽きせぬ魅力／「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師／松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授

第10回 命のバトンを渡す「ピオナーブ」／長野市をピオナーブネットワークシティに 平成19年11月14日
講師／松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授

第11回 簡単、おいしい、オシャレ／わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
講師／浜 このみさん クッキング・コーディネーター

第12回 あなたのからだは「築何年」ですか？ 平成20年7月14日
講師／角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士协会会长

第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
講師／針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)

第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師／水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長

第15回 長野ハルセイロー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師／バドゥ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン

第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師／町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事

第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師／中山 修さん 中山法律事務所 弁護士

第18回 循環型畜型の農業の実践…宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みる… 平成21年6月3日
講師／塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長(株)水輪ナチュラルファーム代表取締役

第19回 郷土を包む「おやき」平成21年7月14日
講師／小出 陽子さん (関)ふきっ子のお八起 代表／信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー

第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
講師／宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役／木の花屋

第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく！ 平成21年11月24日
講師／志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっこらしょ 代表理事

第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師／薩川 了洋さん AC長野ハルセイロ監督

第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぽ〜 平成22年5月25日
講師／石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役

第24回 3度目でつかんたオリンピック出場 平成22年7月28日
講師／新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務

第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師／越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属

第26回 Go to J ～Jを長野にーいよいよ地域決勝大会！～ 平成22年10月25日
講師／鈴木 政一さん 長野ハルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長

第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師／千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ

第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師／川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表

第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師／安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)

第30回 江戸のエコロジストー茶 平成23年8月30日
講師／マフソン 青眼さん 俳人、比較文学者

第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師／井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師／田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役

第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師／飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166」バンクパッカーズ」運営

第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師／相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭

第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師／小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務

第36回 すべてがー丸となってー*ながのの宝もの。をJへ 平成24年4月24日
講師／薩川 了洋さん AC長野ハルセイロ監督

第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
講師／小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員

第38回 見る、学ぶ、体験する 自然農法 平成24年9月27日
講師／塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役後/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
講師／梶田 達男さん NTT東日本 長野支店長

第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
講師／山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役

第41回 自然との共生 平成25年2月28日
講師／藤岡 牧夫さん イラストレーター 絵本作家

第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
講師／矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長

第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
講師／近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日
講師／栗田 貞多男さん 写真家

第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
講師／鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日
講師／天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授

第47回 AC長野ハルセイロー私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日
講師／美濃部 直彦さん AC長野ハルセイロ監督

第48回 わたしにとつてのボランティア 平成26年4月16日
講師／丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
講師／浅野 邦子さん 株式会社 第一 代表取締役会長

第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に！～ 平成26年10月8日
講師／平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

第51回 チームマネージメント 平成27年1月19日
講師／本田 美登里さん AC長野ハルセイロ・レディース監督

第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～ 平成27年3月17日
講師／小田 興之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長

第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う！～地方の中規模企業が成功するための法則とは？～ 平成27年7月1日
講師／廣井 紀文さん 株式会社ディーテース 代表取締役社長

第54回 長野から宇宙へ！～ローカル企業のチャレンジ～ 平成27年8月25日
講師／羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力！ 平成27年10月8日
講師／中島 麻希さん 1級フードアナリスト

第56回 摩訶不思議！長野の神社の霊感の世界 平成27年11月17日
講師／齋藤 安彦さん 宮司

第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ～撮影を通して見た信州の魅力～ 平成28年4月2日
講師／藤敷 隆太郎さん NHKチーフプロデューサー

第58回 真田丸の時代を語る ～ 時代考証の舞台裏 平成28年7月2日
講師／平山 優さん 歴史研究家

第59回 寺町商家の運営で気づいた*食、の力 平成28年8月30日
講師／西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー

第60回 地域から社会を変えよう！行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日
講師／広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表

第61回 長野ハルセイロー今シーズンの目指すチームづくり 平成29年3月13日
講師／浅野 哲也さん AC長野ハルセイロ監督

第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に！ 平成29年5月30日
講師／中島 恵理さん 長野県副知事

第63回 信州は橋の都 千曲川と犀川に架かる名橋／日本一美味しい飯山のお米 平成29年7月19日
講師／服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー

第64回 少子高齢化時代の長野市を考える ～行政の政策現場から見えるもの～ 平成29年8月23日
講師／平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー (前松本市商工観光部長)

第65回 長野県を元気に！メンタルヘルス(心の健康)からの大きなヒント！ 平成29年9月21日
講師／野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師

第66回 陶芸の楽しみ 平成30年3月23日
講師／愛甲 宏明さん 炭平コンピュータシステム株式会社 代表取締役社長

第67回 話すって難しい？ 平成30年4月23日
講師／坂橋 克明さん フリー・パーソナリティー

第68回 中世善光寺如来堂東向き 平成30年7月5日
講師／宮下 秀樹さん 株式会社守谷商會 執行役員、国立長野高等客員教授

第69回 これからの長野における大学教育 ～人生100年時代の生き方と学び方～ 平成30年8月23日
講師／山本 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長

第70回 広域景観から見た善光寺 ～山岳信仰と他界意識～ 平成30年9月26日
講師／笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長

第71回 劇場が街を変える 平成30年11月30日
講師／山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人

第72回 早春のマンデーン・ジャズ・ナイト 平成31年3月11日
出演／AO VIVO(アォ・ヴィーヴォ)：竹内 浩一・中川 雅紀・山極 おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛

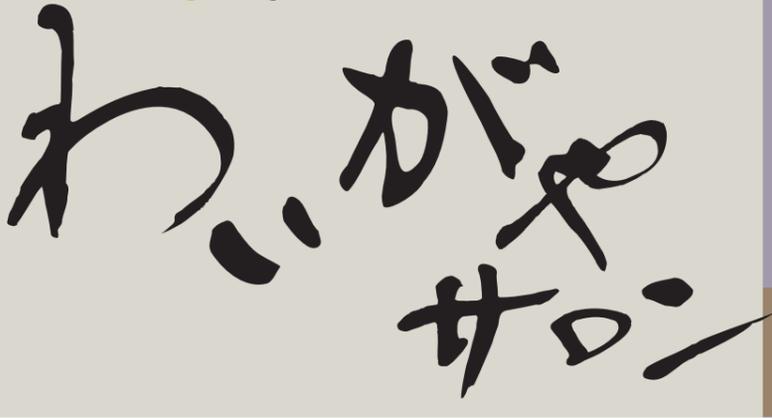
第73回 100年前に信州がめざしたのもの ～県歌「信濃の国」に垣間見る～ 平成31年4月25日
講師／山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員

第74回 人生に無駄なし！ 令和1年7月18日
講師／松本 克幸さん 協栄電気興業㈱、取締役副会長

第75回 「企業経営」～SDGsと求められる企業モデル～ 令和1年9月25日
講師／大室 悦賢さん 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ノージャル・イノベーション創出センター長

第76回 クリスマス"Jazz & Bossa"ナイト 令和1年12月6日
出演／AO VIVO(アォ・ヴィーヴォ)：竹内 浩一・中川 雅紀・山極 おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛

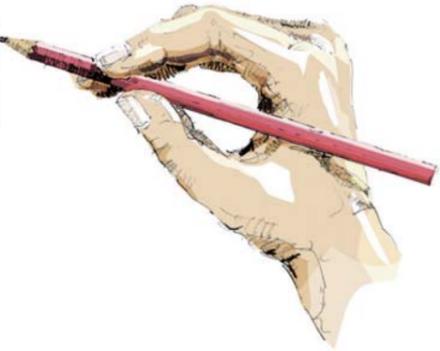
第77回 東御市からセンターボールに日の丸を！ 令和2年1月23日
講師／水間 源 東御市役所 地域おこし協力隊



通信

Vol. 78
2020.10

New
Normal



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

第78回 新型コロナウイルスと経済を考える

講師／小澤 吉則さん 一般財団法人 長野経済研究所 理事・調査部長

■座長：岩野 彰 場所／THE SAIHOKUKAN HOTEL 10月22日(木) 18:00～20:00

世界共通禍により休会していた「わいがやサロン」——場所をNUPRI事務所からホテルの広間に移し、検温ほか感染防止対策をして臨んだのは秋も深まる宵。久しぶりに顔を合わせた会員面々が時宜に合った話題に耳をそばだてました。

新型コロナウイルス感染状況と特徴

今夜は長野市内の企業トップの皆さんとお会いできるということで楽しみにしてまいりました。新型コロナウイルス禍は大変なことではあるが、メディア・行政が連日市民の不安を煽るような騒ぎ方はおかしいと薄ら薄ら思っている方もいるのでは？いらしたら手を挙げていただけますか？(多数挙手) これからさまざまなデータをお示しますので、私たちは一体どうすべきか一緒に考えていきたいと思います。

全世界で蔓延している新型コロナウイルスの感染状況と特徴を見ていきましょう。10/16現在、世界の感染者数は38,854,447人、死者は1,097,359人。アメリカ、インド、ブラジルが突出し、4月から感染拡大したアメリカ(人口:3億人超)の感染者は約800万、死者は20万人を超えました。ヨーロッパではスペインの感染者が90万人超、続くフランス(人口:700万人弱=日本の半分)は8月から感染者が急増し85万人、死者は3万人を超えました。

日本の同現在感染者は91,431人、死者1,650人(クルーズ船除く)。人口は1億人超ですから、総数・割合とも諸外国に比べて桁違いに少ないことは皆さんお気づきでしょう。DNAの違いによるのか、(要請に対して過度に反応するような)国民性によるのかまだ不明ですが、陽性だが症状が出ない人が多いのも事実。100年に一度という強力な感染症で、誰にも感染する可能性があるため感染者数の多寡にばかり汲々としていますが、死なせないことが大事という視点でいくべきではないでしょうか。

コロナによる国内死者数が社会的に許容される範囲内かどうか問題だと思のですが、これについてほとんど議論がありません。厚生労働省「人口動態資料」2018の「死因別にみた死亡数」を見てみます。1位が悪性新生物いわゆる癌:373,584人、2位心疾患:208,221人・・・と続きます。インフルエンザは年によっては1万人を超えますが2018年は交通事故より少ない3,325人ですから、他の疾病と比べてもコロナの現状1,650人はかなり少ない。

死者が少ない日本の経済成長率は

感染者数・死者数が多い国では当然、経済的な打撃は大きく、IMFによる2020年経済成長率予測はインド▲10.3%、ブラジル▲5.8%、アメリカでは▲4.3%と軒並みマイナス成長の予測です(図1)。一方今回のウイルス禍の源とされる中国はウイルスの封じ込めに成功したとされ1.9%プラス成長。対して日本は、100万人あたり死者はアメリカの1/50なのに▲5.3%とアメリカより深刻な経済状況。

くどいようだがなぜか？ 我が郷土・長野県含め、感染者数偏重の情報提供の影響が大きい。連日、感染者の増加のみ聞いていて(陽性者の9割は既に退院や療養解除しており、死者が少ないことは発表されず)恐怖心が心を占めた→人は恐怖に襲われると行動が委縮する。その結果、経済・消費活動は冷え込んだまま。さらに「一人の感染者も許さない」という社会の雰囲気は感染者に対する差別、イジメを生み出した→死者数の犠牲者以上に、経済面での犠牲者を多く生む構造に。



減速する経済、悪化する経営

2020年4-6月期の実質GDPは政府の緊急事態宣言などもあり、前期比で▲7.9%(年率▲28.1%)となりました。リーマンショック直後を下回る戦後最大の下落です。

県内はどうか？ 当研究所では長年、県内企業に対し四半期別に業況を調査してきま



おざわ よしのり 1963年生まれ 1985年(株)八十二銀行入行
1999年 日本興業銀行産業調査部(現 みずほ銀行)研修出向
2000年 財団法人長野経済研究所出向 2009年調査部長
2018年 理事・調査部長

た。(図2)はリーマンショックが起きた2009年(県内企業マインド=最悪)から2020年の現状までを表示したものです。景気後退期にあった2012年を経てアベノミクスなる語が登場した2013年以降、景気は拡張局面に入りました。ところが、2018年秋より米中貿易摩擦の激化で業況は悪化に転じました。重なるように、昨秋は台風19号・・・そこにコロナ禍が起きて「もう無理だ」の声も聞こえてきました。しかし緊急事態宣言も明け、最近では「新車、結構売れてますよ」「半導体関係は仕事が多くきます」の声も。

産業別四半期見通し調査によれば製造業は車関係・電子部品等を中心に、非製造業はGO-TOなどの要因により、7期ぶりに持ち直す見込みで底は打ったと考えられます。

次に「新型コロナウイルスの影響に関する調査」(7月実施)の結果をお話しします。感染前と比べた足もとの売上高状況について「減少」の回答が全産業で71.9%/工場・店舗の稼働状況は半数がコロナ前に戻らず等々で県内企業が大きな傷を負っていることが推し量れます。私ども研究所がアンケートとヒアリング調査した結果を基に判断した2020年度の長野県県内総生産(GDP)の推計数字は▲7.0%。各企業とも売上が10%前後の減、中でも旅客・ホテル旅館・飲食の観光関連産業では40~60%前後の減、と厳しく予測しています。

そうは言っても我々は喰っていかなければなりません。現状を直視し、経済の正常化を一刻も早くすべきです。被害が海外に比べて限定的という日本のコロナ感染の現状を見るなら、ウルトラCはないが地道に、適切な感染防止策をとったうえで積極的なイベント・飲食・消費活動等々を再開すべきでしょう。しかし実態は人々の行動の委縮は続いています。それほどコロナが社会に残した爪痕は大きく、影響を引きずることが予想されます。

ウィズコロナ

先日、飯田での仕事があり、以前なら実際に出向き、1日かかるところですがオンラインで行いました。また或る会合で久々に集まろうとしたところ「この程度だったらZoomでいい」との返答も。感染に対する恐怖心から社会全体が非接触を求め、会議等のオンライン化、在宅勤務・テレワークを一気に浸透させたのです(図3)。

ウィズコロナ時代を生き抜くためのキーワードは〈分散〉〈非接触〉です。以下の3つの変革提案は皆さんを前にしては「釈迦に説法」でしょうが、頭の整理として聞いてください。

1. ビジネス形態は生産拠点を分散⇒中国依存の供給網の見直し/国内回帰/AI・IoT・ロボットの活用の加速。リモート・ウェブ会議で下がったコストはもう戻らない⇒離れた顧客とのリモート営業を進展させよ。オフィス分散(東京一極は是正されるかも?)⇒長野県を受け皿に。
2. 各産業はコロナの影響を受け対応し変化した方向がウィズコロナ時代の標準に。(昼神温泉:すばやく前向きな対応で営業再開、安全安心の温泉地に/健康医療品:製造業の参入目立つetc.)
3. 生き残りをかけ、守りから攻めの企業経営を。(自社の強みを明確化し、強みを更に強く、足りない部分は大学・行政・金融機関・会議所を使い、相談する)

攻めて業績を上げている県内企業の例を紹介しましょう。(株)イダ・アクセスはテレワーク増加で在宅用机などニーズが伸び、製品を開発、コロナで生じたニーズに対応し新事業を展開しています。また(株)マイナックは本業の衣料品製造のノウハウを生かして、マスクや医療用ガウンの開発製造に舵を切りました。自社の強みをどうコロナ対応を生かせるのかの発想が求められます。

コロナを特定感染症2類相当からインフルエンザ同レベルの指定替えをし、恐怖の連鎖を断ち切るべきです。今、皆さんの会社の強みで出来ることは何か？ ウィズコロナは厳しい環境ですが、同時にライフスタイルの変化期であり、事業が生まれるチャンス！ 企業の底力を発揮して、この難局を乗り越えましょう。

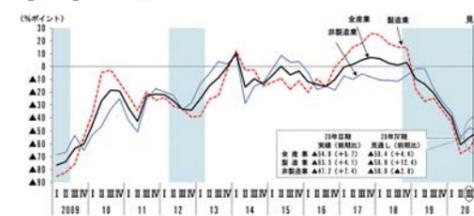
お話し後はNUPRI理事長の講評・講師へのQ&Aを静かに聴きつつ、ホテル特製サンドウィッチ弁当&コーヒーを各人楽しみました。

【図1】国際通貨基金(IMF)世界経済見通し(暦年)

予測期間(暦年)	2018	2019	2020 予測	2021 予測
世界	3.6	2.8	▲4.4 (0.8)	5.2 (▲0.2)
米国	2.9	2.2	▲4.3 (8.7)	3.1 (▲1.4)
ユーロ圏	1.9	1.3	▲8.3 (1.9)	5.2 (▲0.8)
日本	0.3	0.7	▲5.3 (0.5)	2.3 (▲0.1)
新興国・途上国	4.5	3.7	▲3.3 (▲0.3)	6.0 (0.1)
中国	6.7	6.1	1.9 (0.9)	8.2 (0.0)
インド	6.1	4.2	▲10.3 (▲5.8)	8.8 (2.8)
ブラジル	1.3	1.1	▲5.8 (8.3)	2.8 (▲0.8)
ロシア	2.5	1.3	▲4.1 (2.5)	2.8 (▲1.3)
ASEAN	5.3	4.9	▲3.4 (▲1.4)	6.2 (0.0)

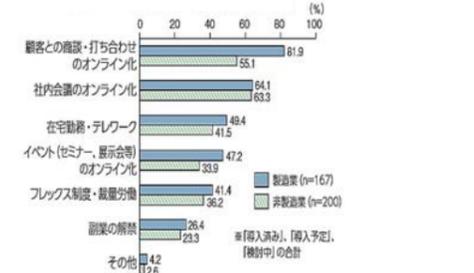
(資料)国際通貨基金 "World Economic Outlook 2020年10月見通し"
(注)実質経済成長率、カッコ内は前回(2020年6月予想)からの修正幅を示。
ASEANは、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム。

【図2】県内企業の業況判断DIの推移



(資料)長野経済研究所「四半期別業況アンケート調査」
(注)シャドー部分は長野県の景気後退期

【図3】新型コロナ感染予防の対応策(複数回答)



(資料)長野経済研究所「新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査」
(2020年7月)

